

2021年度春学期 日本事情1 浅野担当「日本の色彩」

第4回 トイレマークの色分け — ジェンダーと色彩

浅野 晃
関西大学総合情報学部



([1],[2],…は, テキストの文献番号です。)

トイレマークの色  

トイレマークの色  


日本では「男の色・女の色」がある

右の写真は, 典型的なトイレのマーク(ピクトグラム)

男性 = 青や黒

女性 = 赤やピンク

というのは, 日本では常識になっています

※この絵文字   はAppleのものですが
女性の色が日本とは少し違いますね。



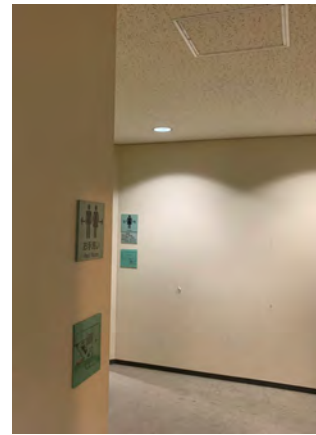
色分けしないトイレマーク

性別中立の観点から色分けしない トイレマークもある

右の写真はドーンセンター
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)にて

かつては、
「間違える」という苦情が殺到して
結局色をつけたということがありました。

※写真のトイレは、階段を降りたところに
ありますが、見ていると、階段を降りてきて
マークを見て迷っている男性がたくさんいました。

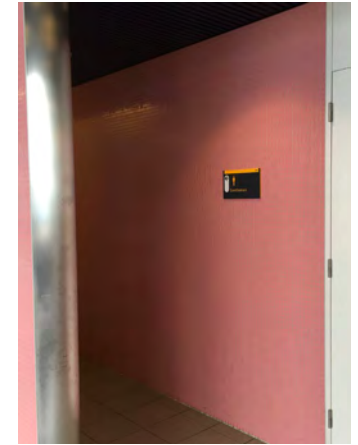


日本以外では色分けは異なる

アムステルダム・スキポール空港の 「男性」トイレ

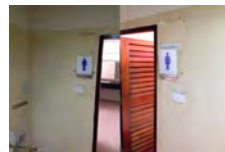
※日本人男性の私には、かなり抵抗があります🙄

※JR高槻駅ビルにあるクリニックの人間ドックに
行ったとき、本来「女性専用」に用いられている部
屋で、診断結果の説明を受けました。壁も家具もす
べてピンク色で、落ち着かない思いをしました😓

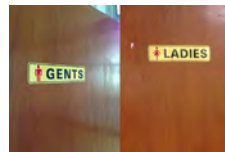


日本以外では色分けは異なる

スイス・ローザンヌのオリンピック博物館



タイ・
ラジャマンガラ工科大学



インドネシア・
スラバヤ工科大学

日本でもこんなところも…

京都のスーパー銭湯にて。



赤いカーテンの奥に、喫煙所と
男女のトイレ🚻🚺があります…

銭湯で赤いカーテンをくぐるのは、
男性には勇気がいります🙄



みなさんの育った国・地域では
いかがですか？


トイレマークの色分けの起源

やのように、言葉が通じない人にも
簡単な絵で意味を伝える「図案化された記号」を
ピクトグラムという

ピクトグラムが広く使われるようになったのは
1964年東京オリンピックで用いられたのがきっかけ

※いま使われている「絵文字」も日本発祥で、
Unicodeに”emoji”として採用され、世界中で用いられるようになりました😊

トイレマークの色分けの起源

1964年東京オリンピックで、
男女を色分けしたトイレマークが初めて用いられた、
という説がある

※NHK「チコちゃんに叱られる！」で紹介されて、有名になったようです。
(講義ウェブサイトから、参考サイトにリンクしています)

しかし、
同オリンピックでマークをデザインした道吉剛氏は、
講演で「男女の色分けはしなかった」と述べている

※詳しくは、参考文献[3]を読んでください。これも講義ウェブサイトからリンクしています。

男性／女性が使う色の規範

ランドセルの色

日本では、
小学校に入ると、右の絵のような
「ランドセル」という背負いカバンで
学校に通います。



[4]

私が小学校に入った50年前、ランドセルの色は
男の子は黒・女の子は赤に決まっていました。

現在でも、上のイラストのように、黒／赤が主流です。
上のイラストでは、イラストの配色の都合で、男の子のランドセルは濃紺色になっていますが…

※「ランドセル」の語源は、オランダ語の“ransel”(バックパック)だそうです。

ランドセルの色

現在では、右のように
さまざまな色のランドセルがある



こうなったのは2000年以降のこと

[4]

黒／赤以外が普及しはじめた当初は、
店が「お子さんは、好奇の目で見られても平気な方ですか？」と
親に確認していた、という話もあった

「男性／女性はこの色を使うべきだ・使うべきでない」という**規範**がある

※私も子供の頃は、赤い持ち物は女の子のみみたいでかっこ悪い、という意識がありました👉

男性のほうが色への規範意識が強い？

浅野ゼミでの卒業研究[1]での実験

男女学生に、右のアイテムから、
好きな色のあるものを
選んで身につけてもらった



結果、

- 女性がさまざまな色を選ぶのに比べ、男性は寒色に偏っている
- 「自分が女性らしいと思う色」を男性が身につけていたら違和感を感じる、という人はいるが、
「自分が男性らしいと思う色」を女性が身につけていたら違和感を感じる、という人は**いない**

男性のほうが色への規範意識が強い？

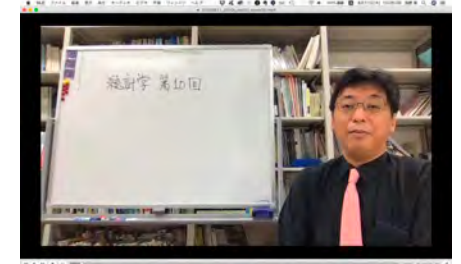
浅野ゼミでの卒業研究[1]での実験は

男性のほうが、使う色への制約が強い、
つまり色彩への規範意識が強いことを示している

なぜこうなったのでしょうか？

※なお、**ピンク**色は女性らしい色とされていて、この実験でも男性は避ける傾向がありました。しかし、ピンクのジャケットを着る男性は日本では少ないですが、ピンクのシャツやネクタイはふつうで、私も好きです👉

このあたりは研究の余地があります。



「ダンディズム」と男性の服装

ダンディズム

19世紀初めにイギリスで起こりヨーロッパに広まった、「華美」や「虚飾」をやめ、抑制された中で「こだわり」に美意識を見いだす価値観

また、19世紀には資本主義や工業化社会が発展し、領主などではなく「ビジネス」を行う者が力を持っていた

男性の服装は地味で実用的なものとなり、ネクタイなどでおしゃれをするのが「粋」とされるようになった



ダンディズムの祖といわれる
George "Beau" Brummellの
1805年の肖像画(Richard Dighton画, PD)

日本の男性の服装

日本で洋服が普及しはじめたのは、19世紀終わりの明治時代以後

当時の日本は、近代化を急ぎ、さまざまなものを欧米から取り入れた

男性の洋服は、当時の欧米にならってダンディズムにもとづくものになった

日本の男性の服装

日本での洋服の普及は、男性のほうが女性よりも早かった

現在でも、「着物」を着る機会は、女性のほうが多い



※2020年3月の卒業証書授与の時の風景。女性は着物、男性は洋服(スーツ)の人が多かったです。

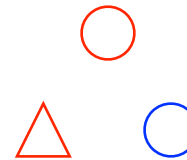
なお、この女性の衣装は、明治時代の日本の女学生の服装をもとにしたものです。

「女学生」は、当時の「女学校」の生徒のことで、現在の高等学校にあたります。当時は、女性がそれより上の学校で学ぶことはほとんどできませんでした。

女性は男性よりも色への関心が高いのか？

女性は男性よりも色への関心が強い、とよくいわれる

上の○と同じグループなのは、△・○のどちら？



しかし。

※浅野ゼミでは、「色彩の研究」を主に標榜するようになってから、ゼミ生は女性が男性よりも多くなっています。

女性は男性よりも色への関心が高いのか？

卒業研究[2]では、「ものを認識するのに、色と形のどちらを優先するか」を調べたふたつのもののイラストを、実際とは色を互いに入れ替えて呈示する



緑の桜の花とピンクのクローバーの葉、
桜に見えるのはどちら？

オレンジ色のリンゴと赤いミカン、
リンゴに見えるのはどちら？

結果は、回答者の性別にはあまり関係がなかった。

課題

テキストの最後にある演習問題の回答を、
関大LMSで提出してください。